

明治維新の原動力となった  
佐賀の「技」・「人」・「志」を次世代に

### 明治維新150年記念さが維新事業 12億5,640万円

3月17日に開幕した「肥前さが幕末維新博覧会」は約10カ月間開催し、幕末維新記念館などの各館の運営をはじめ、県内各地でさまざまなイベントを行います。明治維新の原動力となった佐賀の技・人・志を体感することで、県民の皆さんに佐賀への愛着や誇りを持っていただくことを目指すとともに、県民の皆さんと創り上げる博覧会にしていきます。



子育てし大県  
「さが」

佐賀での子育てを応援したい

### マイナス1歳からのイクカジ推進事業 849万円

妻が妊娠中の男性「プレパパ」の家事や育児に参画する意識を高める講座を開催します。また、男女共同参画の視点を盛り込んだ「父子手帳」を配布します。



平成30年度は「佐賀県総合計画2015」の最終年度。それぞれの分野で佐賀県を前に進めるよう全力で取り組んでまいります。



佐賀県知事  
よしのり  
山口祥義

### 子どもの居場所拡大事業 1,751万円

食事の提供や学習支援などを行う「子どもの居場所」の開設を支援し、子どもたちが気軽に集える場を増やします。

さまざまな困難を抱える人たちに寄り添いたい

### 発達障害者支援体制の整備 7,918万円

成人の発達障害者の方を専門的に支援する「発達障害者就労支援センター」を佐賀市内に設置します。就労支援や企業向け研修を行うほか、さまざまな相談に応じます。



### ヘルプマークの導入 865万円

難病や義足など、外見からでは分かりにくい障害がある方々へ、周囲の人が配慮や援助ができるよう「ヘルプマーク」を導入します。



## 平成30年度当初予算の主な事業を紹介します さかの誇りを未来につなげる予算2018

「さがの誇りと志の醸成」をコンセプトに、県民の皆さんが自信と誇りを培い、佐賀が未来に飛躍するための事業を盛り込んでいきます。これらの取り組みを着実に推進し、佐賀の未来を切り拓いていきます。

県政の基本理念「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を実現していくため、平成30年度当初予算を編成しました。総額は4,368億4,700万円、前年度と比べ0.8%増となります。

一人でも多くの県民が  
がんから守りたい

### がん対策充実・強化事業 2,793万円

肝がんの主な原因である肝炎ウイルスの検査を、すべての県民の方が無料で受けられるようにします。また、がんの予防や治療などに関する情報をわかりやすく発信していきます。



佐賀を支える社会資本整備を進めます

### 幹線道路ネットワークの整備 54億4,241万円

幹線道路は、産業の活性化や広域の経済活動を促進するとともに、災害発生時の避難や救急救援物資の輸送などを支えています。引き続き、有明海沿岸道路や佐賀唐津道路などの整備を促進します。また、国道498号若木バイパスが開通する予定です。



若木バイパス

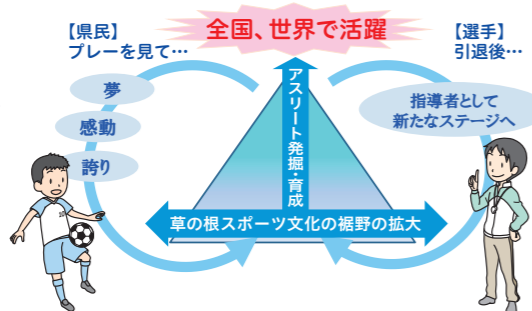
### 城原川ダム事業 9,972万円

これまでの「調査段階」から、「建設段階」に移行します。流域の方々の暮らしの安全と安心を守るため、ダム建設に向けた取り組みを進めていきます。(※金額は国の事業に対する県負担金の額)

スポーツで夢と感動を生み出したい

### SAGAスポーツピラミッド(SSP)構想

「スポーツをする・観る・支える・育てる」という裾野をより広く、「トップアスリートの養成」という頂点をより高く、大きなピラミッドへと成長させる新たなスポーツの佐賀モデルを構築していきます。



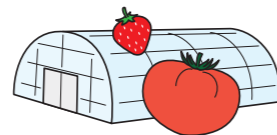
### SAGAサンライズパーク(仮称)整備事業 10億7,172万円

県総合運動場・総合体育館エリアを「SAGAサンライズパーク(仮称)」とし、スポーツの枠にとどまらず、さまざまな楽しみが体験できるエリアとして整備していきます。

佐賀の農業をもっと元気に、もっと魅力的に

### トレーニングファーム整備事業 1億9,576万円

就農希望者の研修拠点である「トレーニングファーム」を鹿島市(トマト栽培)、白石町(いちご栽培)に整備し、これからの佐賀の農業を支える人材の確保・育成を進めていきます。



### それぞれの中山間チャレンジ事業 2,108万円

中山間地域のそれぞれの集落や産地が抱える課題を解決するための話し合いや、目標の実現に向けた取り組みを支援します。